

2014年度(平成26年度)入学者  
表4 学習・教育到達目標を達成するために必要な科目の流れ

学習・教育 到達目標	授業科目名							
	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
A	人間科学基礎科目人文社会系○ 副専門人間科学科目(語学科目を除く)△							
B	電気電子工学序論◎◎				専門英語 I ◎◎	専門英語 II ◎◎	卒業研究◎◎	
B	解析学 I ◎◎ 線形数学 I ◎◎ 物理学 I ◎◎ 化学 I ◎◎ 図形情報科学○ 情報リテラシー◎◎	解析学 II ○○ 線形数学 II ○○ 化学 II ◎◎ 化学実験 B ◎◎ 数値形状モデリング△△ 情報PBL◎◎	解析学 III ○○ 物理学 II A ○○ 物理学 II B ○○ 物理学実験◎◎ 情報処理基礎◎◎	複素解析学○ 基礎量子力学○ 情報処理応用◎◎	統計学△△ 量子力学○ 工学と環境○ サイエンス工房△△ 数値計算法◎◎	統計力学○ 原子力概論△△ 工学倫理・安全工学○ 経営管理・知的財産権△△		
C	電気電子工学実験入門◎◎	電磁気学 I ◎◎ 電気回路 I ◎◎ 半導体デバイス◎◎	電気電子工学実験 I ◎◎ 電磁気学 II ◎◎ 電気回路 II ◎◎ 電子回路 I ◎◎ 論理回路◎◎	電気電子工学実験 II ◎◎ 電磁気学 III ◎◎ 電磁気学演習◎◎ 電気回路 III ◎◎ 電気回路演習◎◎ 電子回路 II ◎◎ エネルギー基礎工学◎◎ プログラミング技法◎◎	電気電子工学実験 III A △◎ 電気電子工学実験 III B △ 電磁気学 IV ○○ 電気回路 IV ○○ 電気電子計測 I ○○ システム工学○ 電気エネルギー伝送工学○△ 電気機器○△ 制御システム工学○ 電子物性○△ 信号処理 I ○◎ 通信基礎△ ネットワークインターフェース△○ 電波工学△○ デジタル回路設計法△○ コンピュータアーキテクチャ△○ 組み込みシステム△○	電気電子工学PBL実験◎◎ 電子回路応用演習◎◎ 電気電子計測 II ○○ 情報理論○ 電力システム工学○△ パワーエレクトロニクス○△ 電気電子材料○△ 集積回路工学○△ 電力応用○△ 信号処理 II △○ 光通信工学△○ 通信ネットワーク△○ 組み込みオペレーティングシステム△○ センサ・インターフェース工学△○ アナログ回路設計法△○ システムLSI△○	電機設計法○△ 移動通信及び法規△○	電気法規・施設管理○△
D	工学基礎科目・専門科目 ◎必修科目, ○選択必修科目, △選択科目  前: 電気工学コース 後: 電子工学コース							
E	総合英語 A I ◎ 総合英語 B I ◎ 中級英語 I △ ドイツ語 I ○ 中国語 I ○	総合英語 A II ◎ 総合英語 B II ◎ 中級英語 II △ ドイツ語 II ○ 中国語 II ○	総合英語 C I ◎ 上級英語 A I △ 上級英語 B I △ 基礎ドイツ語 B ○ 基礎中国語 B ○ 選択ドイツ語 I △ 選択中国語 I △ 選択韓国語 I △	総合英語 C II ◎ 上級英語 A II △ 上級英語 B II △ 選択ドイツ語 II △ 選択中国語 II △ 選択韓国語 II △	電気電子工学実験 III A △◎	電気電子工学PBL実験◎◎	卒業研究◎◎	
	人間科学基礎科目保健体育系◎						卒業研究◎◎	
	電気電子工学PBL実験◎◎							
	卒業研究◎◎							
	学外工場実習見学△△							

電気電子工学 学習・教育到達目標

技術に堪能なる士君子となる素養の研鑽。

A. 豊かな教養や社会に対する責任感、国際的視野の習得。

B. 電気電子工学の専門領域を理解するのに必要な工学基礎知識の習得と、それらを応用できる能力の習得。

C. 電気電子工学に関する専門知識と専門的課題を設定できる能力と、問題解決のために専門知識を「もの創り」に応用できる能力の習得。

D. 物事を多面的・批判的に検証する能力と科学的に論理を展開できる能力の習得。

E. 社会における工学的な課題を見つけ出して、自主性、計画性、チームワーク、コミュニケーションをもって課題を解決する能力の習得。